

川で学ぼう 川とふれあう学習

「聞いてごらん川が何か言ってるよ」

日吉津小学校では、この地域で言う通称“西川”という用水路を題材にした学習が行われています。西川は海川排水路とも言い、日野川から取水し、岸本町から日吉津村まで続いている全長約 12 Kmの排水路です。毎年 4 年生が行う総合的な学習は、実際に現地を訪れて子ども達自身が受けとめて感じたことをテーマに 1 年間を通して学習しているというものです。今年は、“なぜ西川が作られたのか”というような歴史を探索するや“どんな水なんだろう”という水質に関する事、“どんな生き物がいてどんな生活をしているんだろう”という生物調査に関する事の 3 つのテーマを上げ、4 つのグループに分かれてそれぞれが学習しています。



井手ウォーク (7/30)
(後日野川)
日野川の歴史について説明を管理組合の人から受けているところ



井手ウォーク (7/30)
岸本町の取水口に到着



井手ウォーク(7/30)井手に沿って上流へ



あゆの稚魚放流

学校での授業とは別に自由参加ながら、地元の役場や団体が中心となって行われた“井手ウォーク”“西川であそぼ”などの川にちなんだイベントや学集会などにも積極的に参加し川に対する関心を深め、また毎年 4 月には地元を流れる日野川に 3・4 年生の手によって稚アユを放流したり 3 月には鮭の稚魚を放流したりしています。

現在は子ども達が自分自身で感じた事や疑問に思った事の中からテーマを絞り学習を進めているそうです。西川をとおして水に対する思いや自然環境の大切さを学んで欲しいですね。

新シリーズ “学校紹介…川で学ぼう”

今回より、水や川にちなんだ学習や活動を行っている日野川流域の学校をシリーズとして紹介していきます。



日吉津村立 日吉津小学校

日吉津小学校は文字通り日吉津村内に位置し、明治 6 年 5 月に創立され地元のお寺を借用して開校された、古くからの歴史のある小学校です。平成 15 年現在で生徒総数約 180 名自然環境にも恵まれ、それを生かした教育も行われています。



日吉津村